

NEC 特集

http://www.nec.co.jp/WebSAM/

パートナーとの連携を強化し新しい付加価値を生む

コラボレーションを推進するパートナープログラム『WebSAM WORKS』



第一システムソフトウェア事業部
小室 博 統括マネージャ

企業規模を問わず ITシステムの運用管理が必須に

「ITシステムは、日々増強されており、製品のマルチベンダ化、システム間連携など、運用・管理する対象が複雑化しています。一方で、ITシステムに障害が生じ、結果的に社会的影響を及ぼしているケースも増えています」と第一システムソフトウェア事業部の小室博統括マネージャは語る。

また、「金融商品取引法」への対応や「個人情報保護法」などの施行により、IT全般統制の強化が余儀なくされており、ITインフラへの改善を迫られているという状況もある。ITシステム運用部門は、経営部門からはコスト削減、コンプライアンス対応などを求められ、ユーザからは従来以上のサービスを要求され、その負荷は増大の一途をたどる。このような背景から、企業全体のITシステムを見直し、シンプルな運用を可能とする運用管理ソリューションを求める声が高くなっている。

NECは、企業システム全体を統合管理し、組織的な統制強化を実現する全体統制型システム運用管理ソリューション『WebSAM Ver.7』を提供している。『WebSAM Ver.7』は時代のニ

生産性や業務効率の向上を目指し、企業のIT投資がすすんでいる。これらITシステムは企業の基幹で活用され、企業経営の中核となっている。そのため、ITシステムの停止は企業活動の障害、信用の失墜という事態を引き起こすまでになり、安定したITシステム運用が不可欠となっている。その課題について、NECによる答えが『WebSAM』である。『WebSAM』を中核とし、パートナーとの連携強化に注力する同社の展開について、第一システムソフトウェア事業部・小室博統括マネージャに聞いた。

ズをいち早くとらえ「可視化」「判断」「改善」といった企業のライフサイクルマネジメントに適した形で、システム全体での統制を実現する。『WebSAM Ver.7』が提供している、複雑化するシステム状態をわかりやすく“可視化”するGUIや、当社が培ったノウハウやお客様の蓄積している知識・ノウハウを共有化し適切な“判断”を支援するナレッジ、自動化により最適な運用へと“改善”する仕組みにより、運用管理の基本となるサイクルを継続的に回すことが可能になります。このサイクルを継続的に回し、ITシステム運用を改善していくことで、運用コストの削減、サービス品質の向上、コンプライアンスといったニーズに対応することができます」(小室統括マネージャ)とのことだ。

これまで、運用管理を行っている多くは大企業であった。ITシステムが複雑で、運用管理ニーズが早くから顕著となっていたためだ。最近では「中堅・中小規模企業のITシステムも大規模化・複雑化がすすみ、運用管理ニーズが高まっている」(小室統括マネージャ)ということだ。企業規模を問わず、UNIXやLinux、WindowsといったマルチOS環境で、ハードウェアのベンダも異なり、それぞれに管理ツールは使っているものの、企業システム全体を見通すことはできないといった課題が表面化しているというのだ。また、サーバ台数は少ないが、重要な業務を担うITシステムを安定稼働させたいというニーズもあり、小規模での運用管理の重要性も認識され始めている。

「小規模システム向けにサーバ1台の運用管理を低価格で行う『WebSAM オフィス』も非常に好評です。『WebSAM』シリーズの特長を踏襲し、ナレッジなども活用できます。スモールスタートで運用管理を始めたいお客様やソリューションに組み込んで可用性を向上するために利用されるといった事例も増えています」(小室統括マネージャ)。

外販を強化し パートナー連携をすすめる

『WebSAM』は、顧客企業やパートナー企業に新しい付加価値として利用され始めている。特にパートナーの付加価値として利用しやすくする仕組みが、WebSAMパートナープログラム『WebSAM WORKS』である。

『WebSAM WORKS』に名を連ねていただいているパートナー様は、非常に特化したソリューションをお持ちです。そのソリューションに『WebSAM』を組み合わせることで、付加価値を高め、新たな提案が可能となります」(小室統括マネージャ)。『WebSAM』を活用することで、障害の未然防止や障害発生時の切り分けなどができ、サポートコストを抑えながら、サービス品質の向上を実現できる。『WebSAM WORKS』パートナーにとってのメリットは非常に大きい。

「ISV/IHV製品と『WebSAM』が連携することで新しいソリューションが生まれます。一例ですが、クワンティ様のLinuxシステムのパッチ適用ツール『QlocEngine』やインフォテック・

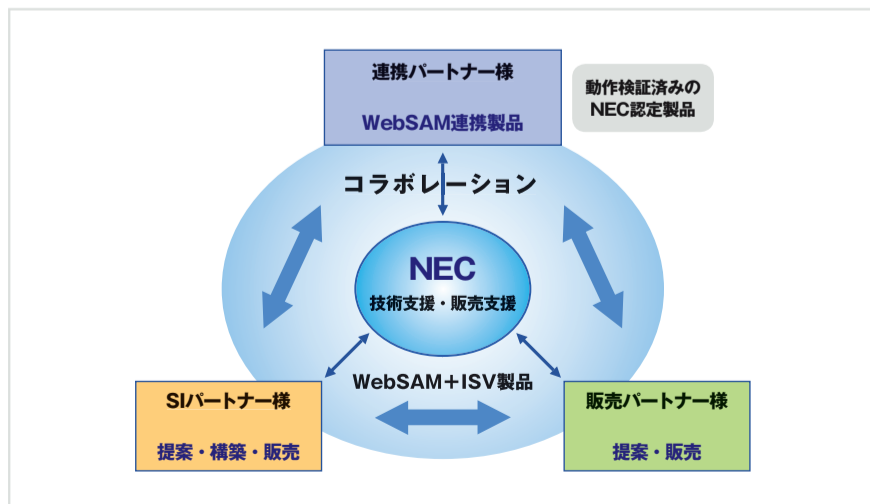
アーキテクト様のWebドキュメントワークフロー『CreateXfWebフロー』などと連携を実現し、ソリューションとして提供しています。このように『WebSAM WORKS』という枠組みを使うことで、お客様に最適なソリューションをお届けできるようになると考えています」(小室統括マネージャ)。

『WebSAM WORKS』は2006年11月からスタートしているパートナープログラムで、「情報提供」「技術支援」「販売支援」を3本柱にパートナーを支援する。『WebSAM』のパートナープログラムは2001年に発足しているが、導入している OEM製品パートナー向け主体という意識が強く、外販を軸に必要なパートナープログラムとしては機能していなかったが、その部分を強化、再発足という形でスタートし、より活発な展開を行っている。『WebSAM WORKS』パートナー間のコラボレーションがすすみ、販売しやすい環境が整っている。『WebSAM WORKS』から半年が過ぎ、その活動が実を結び始めています。パートナー様との共同セミナーやイベントへの出展、協業など、多くの活動実績が出始めています」(小室統括マネージャ)。

NECは、3月のセゾン情報システムズおよびアプレッソとの共同セミナーを皮切りに、4月のクワンティ、6月のエンピレックスとの共同セミナーを開催してきた。7月27日には、今注目される“データ連携ツール”のパートナーを一堂に会して、『WebSAM WORKS DAY』(青山ダイヤモンドホール)と題した200人規模のセミナーを開催予定だ。パートナーと共に運用管理市場のすそ野を広げ、新しい付加価値を提供し続けているNECの活動は、多くの企業からも賛同を得ている。

『WebSAM』を中核とする同社の提案は、新しい運用管理市場を切り開いていくことだろう。

WebSAM WORKSコラボレーションのすすめ



全体統制型システム運用管理



7月27日(金) WebSAM WORKS DAY ~「見える化」を実現する最新データ連携ソリューションを体感~
<http://www.nec.co.jp/semi/wwd0727/>